

### 1 自己評価及び外部評価結果

**【事業所概要(事業所記入)】**

事業所番号	4095500072		
法人名	(株)会社 友愛会		
事業所名	グループホーム 友愛		
所在地	福岡県宮若市宮田191番地の6		
自己評価作成日	令和 6年1月16日	評価結果確定日	令和 6年 2月 15日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先	<a href="http://www.kai gokensaku.mhlw.go.jp/40/index.php">http://www.kai gokensaku.mhlw.go.jp/40/index.php</a>
----------	---

**【評価機関概要(評価機関記入)】**

評価機関名	特定非営利活動法人ヘルスアンドライツサポートウリズん		
所在地	福岡県直方市知古1丁目6番48号		
訪問調査日	令和 6年 2月 1日		

**【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】**

コロナ感染症も若干薄らえてきたがまだまだ気を緩めることはできない状況の中、利用者様の心身の状態観察・精神的不安症状等に配慮し介護支援にあたっている。家族の面会等も短時間ではあるが開始している。季節ごとに外出支援・社会行事・誕生会も行い利用者様の気分転換も図っている。グループホームの施設形態は自宅の延長であることを職員全員が心して介護支援にあたり、常に自己啓発を奨励している。行事・外出などの姿をスマホで撮影し各ご家族に配信している。月曜日～土曜日までは毎日ラジオ体操・心身体操・起立訓練をとりいれ利用者さんの機能の現状維持に努めている。利用者さん気持ちを重視し寄り添いの介護支援を行ってまいります。ご家族や地域に愛される施設づくりを目指してまいります。

**【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】**

前代表(現顧問)の「家族が看れない人をケアしている」をケアの原点として、理念の「家族や地域とのふれあいを大切に信頼関係を築き、笑顔で満ち安心した幸せな生活を支援する」をそのまま日々実践している。状態変化の兆しや現実認識を高める情報を共有し、気持ちに寄り添う穏やかな対応などで、敬老会で「この施設には入れて幸せです。皆さんと一緒にですから」と挨拶された入居者もあり、職員は感涙にむせている。1年前、かかりつけ医や訪問看護と連携し101歳の入居者を見送った家族から「感謝しかない」と謝辞があった。運営推進会議は書面報告であるが、毎月行事や写真を掲載した便りの発行やラインで個別写真を送付し、その折々の家族の思いを受け止め、近隣で通所や施設系のサービスを展開する法人の力を活かした地域貢献で信頼を築いている。

**V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～57で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します**

項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印
58 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:25,26,27)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない	65 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,21)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
59 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:20,40)	<input type="radio"/> 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	66 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,22)	<input type="radio"/> 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
60 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:40)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	<input type="radio"/> 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
61 利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目:38,39)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68 職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
62 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:51)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	69 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
63 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:32,33)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	70 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
64 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:30)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		

自己評価および外部評価結果

ユニット/  
事業所名 **グループホーム友愛**

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	コロナ感染症が蔓延時は理念の唱和は中止していたが今年に入り理念の唱和は開始した。開かれた施設づくりを目指し地域貢献に努めている。	昨今の状況から、理念の唱和再開は検討中であるが、理念の「家族や地域とのふれあいを大切に信頼関係を築き、笑顔で満ち安心した幸せな生活を支援する」を、そのまま日々実践している。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	コロナ禍の為、今年度は地域との関わりは行えなかったが今年度はコロナ感染も第5分類に移行したので地域との関わりを始めていきたいと思っている。コロナ禍の前に行っていた行事をとりいれていく計画である。	近隣の系列サービスとともに10年前に現地に開所し、法人の力を活かした地域貢献で信頼を築き、系列サービスからの入居が多い。餅つきに消防署員が来訪したり、地元の子ども達を引き連れた山笠の巡行などの地域行事の再開を待ちわびている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	2ヶ月に一度の運営推進会議も現在も中止の状況である。今年度から地域の状況を勘案しながら実施していく予定である。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	コロナ禍の為、現在は会議は行っていないが、定期的に宮若市介護保険課には施設の状況報告は行っている。	現在、書面で全家族や地域代表、消防署や警察署職員など運営推進会議のメンバーに運営や入居者の暮らしぶりの報告し、集約した意見を会議録として、メンバーに送付している。会議録は玄関で公表している。	運営推進会議を活かした取り組みを推進するために、場所や会議時間などの工夫で感染防止に配慮し、会議の再開を期待します。
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	利用者の入居状況等の問い合わせについては、地域包括支援センターから受けている	地域包括センターからの定期的な居室情報の提供に応じ、市に転倒骨折について事故報告書を提出している。今後も、地域同業者協議会を通じて関係部署と協力体制に取り組む予定である。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	利用者の人権・尊厳を重んじ拘束を安易に行うことはない。拘束を行うことで利用者の身体的・精神的・社会的の弊害が生じる。毎月拘束廃止についての勉強会を行っている。	身体拘束に関するマニュアルを作り替え、毎月開催している勉強会や話し合いの内容を、運営推進会議で報告している。センサーの活用はなく、「待って」には納得できる説明を加え、外に出て行く入居者もあるが庭に出る程度で、声かけや見守りをしている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	利用者の人権・尊厳を尊重し内外の研修には積極的に参加している。今年度はコロナ禍の影響で研修の開催が少なかった。毎月のミーティングで職員意思統一を図り虐待はしない。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8	(6)	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	ミーティングや研修などで権利擁護・成年後見人制度について勉強会を取り入れている。	日常生活自立支援事業や成年後見制度の活用はない。随時事業や制度を紹介するために勉強会で事業や制度の内容やその違いについて周知している。	
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	利用者・家族が理解し納得できるように細部にわたり説明し、契約を結んでいる。		
10	(7)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	コロナ禍の為今年度は家族会も実施できなかった。玄関に意見箱は設置しているが利用は現在のところ見られない	昨今の状況から家族会の開催はない。面会時に暮らしぶりを報告したり、毎月行事や写真を掲載した便りの発行やラインで個別写真の送付し、その折々の家族の思いを受け止めている。	
11	(8)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	朝礼やミーティングで意見交換や情報の共有を行い運営に反映している。	毎月のミーティングは勉強会やケア会議の場となり、出された意見は運営に反映している。入浴に1時間かかる入居者を見守り、ジュースが飲みたいには購入に出かけるなど、柔軟な運営が展開している。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	施設長が朝礼・ミーティングに参加してスタッフの勤務状況を把握している。 資格取得や研修参加など積極的かつ柔軟に対応している。		
13	(9)	○人権の尊重 法人代表者及び管理者は、職員の募集・採用にあたっては性別や年齢等を理由に採用対象から排除しないようにしている。 また、事業所で働く職員についても、その能力を発揮して生き生きとして勤務し、社会参加や自己実現の権利が十分に保証されるよう配慮している	スタッフの募集・採用に当たっては、面接時に十分説明し採用するようにしている。資格・能力や特技を行かせるように適材適所で仕事が出来るようにしている。休日取得も事前に希望を聞いて対応し権利擁護に留意している。	地域の信頼が篤い代表(現法人顧問)の声かけで入職した職員が多く、60代を中心に50代から70代の夜勤専従を含む女性職員が、夫々の状況に応じて勤務し、調理や通信、室内のレイアウトなどに特技を活かしている。法人として 認知症基礎研修や初任者研修受講を支援し、職員は先輩からその都度指導を受け、楽しく遣り甲斐があると生き生きと勤務している。	
14	(10)	○人権教育・啓発活動 法人代表者及び管理者は、入居者に対する人権を尊重するために、職員等に対する人権教育、啓発活動に取り組んでいる	朝礼やミーティング・研修などを通して人権教育啓発活動に取り組んでいる。	系列の通所系サービスから異動した職員や顧問の声かけで入職した職員は、「ほんとに優しく思い遣りがあり、大声を出す職員はいない」と異口同音に話している。顧問の「家族が看れない人をケアしている」がケアの原点となっている。	入居者ともに職員の人権を擁護するために、令和3年度の改正事項であるハラスメント対策のみならずカスタマーハラスメント防止対策を講じられることを期待します。



自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
15		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	資格取得や研修・ミーティングなど積極的かつ柔軟に対応しスタッフのスキルアップに努めている。		
16		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	コロナ禍の為、GH勉強会も昨年の10月より開催されるようになった。他の施設の実践報告などを通じてお互いのサービスの質の向上を図っている。		
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
17		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	利用開始時は特に関わりを多くとり注意深く声掛け傾聴し、不安をとりのぞく関係づくりに努めている。		
18		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	利用開始時に家族とのコミュニケーションを密にとり不安なことや要望を聞いて信頼関係作りに努めている。		
19		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	利用開始時にグループホームの特徴などを説明し本人や家族との話し合いの中で、要望を聞いて必要としている支援を見極めの対応に努めている。		
20		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	本人自身が出来ることは声掛けしスタッフとともに暮らし成長していける関係を築いている。		
21		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	家族とともに利用者を支援し、できるだけ多くのことに参加していただくように声掛けし、利用者を一緒に支えていくという思いを共有している、		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22	(11)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	本人や家族との関わりの中で本人の生活歴を出るだけ細かく聞き取りなじみの商店・美容室などにはスタッフが送迎し積極的に行っている	面会は談話室で少人数でお願いしているが、談話室とその窓越しで多人数の面会を支援している。本人の携帯に家族から添付された孫の写真に触発され不穏状態になる入居者もあるが、入居者や家族を一体として支援している。	
23		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者同士の関係を把握し趣味・嗜好が上手く噛みあえるように支援している。又生活リハビリやレクリエーションなども利用者同士が声かけ合い一緒に行っている。		
24		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	サービス利用【契約】が終了した後も、本人・家族のその後の経過をフォローし、相談や支援に努めている。コロナ禍の為、病院等の見舞いは行けなかったが、病院からの連絡は家族に行った。		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
25	(12)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	利用者本人の思いや意向を把握し良く面談してできるだけ希望に添うようにしている。	隣接の系列サービスの利用から入居に至る方が多いため、生活歴や家族構成などの情報が得やすく、日頃の関りで得た情報はアセスメントシートに付箋で追記し、全職員で共有している。幼少時からの友達や信頼している医師の名前での呼びかけが功を奏する場面が多い。	
26		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	本人や家族と良く面談して、これまでは生活環境の把握に努めている。		
27		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日々のケアの中から利用者一人ひとりの生活状況を把握・分析している。		
28	(13)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	利用者一人ひとりに主担当を決め日々のケアの中で他のスタッフ・家族・必要な関係者と情報交換をし合いながら現状に即した介護計画を立てている。	無表情などの状態変化の兆しや現実認識を高める情報を共有し、気持ちに寄り添う穏やかな対応や2人体制での入浴介助などで、暴言や暴力が軽減したり、敬老会で「この施設には入れて幸せです。皆さんと一緒にですから」と挨拶された入居者もあり、職員は感涙にむせている。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	利用者一人ひとりの現状に即し介護計画を立て、日々のケアの中でスタッフ間で共有し、朝礼やミーティングでフォローして都度計画見直しを図っている。		
30		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	利用者やその家族に対して、様々なニーズに合ったサービスの提供を心掛けている。		
31		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	今年度は、コロナ禍為、地域のボランティアの受け入れは出来なかった。が今年度は取り入れていきたいと思っている。		
32	(14)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	2週間に一度の定期的な往診と体調不良時にその都度受診している。 かかりつけ医と事業所の関係を築きながら本人及び家族の意向に沿って適切な医療が受けられるようにしている。	医療機関3ヶ所による定期的な訪問診療を受け、急変時はかかりつけ医の紹介状持参で他医療機関を受診するなど、早期治療に繋げている。全員が訪問歯科診療を受け、日頃の口腔ケアに活かしている。	
33		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	看護職員や訪問看護師との連絡を密にし利用者が適切な介護を受けられる様に支援して。		
34		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	日頃から病院関係者とは良好な関係に努め、入退院時には病院関係者との情報交換を密にして、安心して治療を受けれるように支援している。		
35	(15)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入所時に重度化した場合や終末期のあり方について十分に説明し、本人や家族の意思確認書を頂く様にしている。 医師や看護師に利用者の状況や要望を相談しながら支援している。	1年前、101歳の入居者をかかりつけ医や訪問看護と連携し、見送っている。入居者の安寧や家族の不安に寄り添うケアに家族から「感謝しかない」と謝辞があった。入居時、利用者のリスクや緊急時に連絡が取れない場合について説明し、同意書を取り交わしている。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
36		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	急変時マニュアルに沿って利用者の急変や事故に対応している。 スタッフ全員で応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い共有化を図っている。		
37	(16)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	消防署の立ち合いの元、年2回の消防訓練を実施している。 昨今の異常気象を想定し、利用者が安全に避難できる方法と地域との協力体制を構築している。	地域同業者協議会主催の災害研修で「自助」努力や「互助」について学び、救急搬送時にも使用できる個別の緊急連絡ノートや備蓄台帳を整備し、災害時は隣家に協力をお願いしている。コロナ感染初期に、近隣の系列施設でクラスターを経験した職員の異動があり、経験を活かしたBCPを策定予定である。	地域の信頼を培った地域密着型サービスとして、策定されたBCPの研修やシュミレーションで、より現状に即したBCPIに更新されることを期待します。
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
38	(17)	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	利用者の尊厳・人権を尊重し、プライバシーの確保に努め利用者一人一人が安心した生活が送れるように支援し対応している。	理念の「お互いに尊敬と感謝の心を持って接する」支援に努めている。訪室時はノックを励行し、穏やかに氏名で呼称しているが、以前から呼ばれている耳触りの良い名前での呼称もある。	
39		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	本人想いや希望が実現できる様に本人の希望を聞き入れ出来る限り支援をしている。		
40		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	本人の希望に沿って出来る限りの支援を提供し個々人に合ったその人らしい暮らしが送れるように努める。		
41		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	定期的に訪問散髪を依頼している。入浴日は本人さんと一緒に衣類を選ぶようにしている。		
42	(18)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	一人ひとりの食事の好みを把握し、献立に反映している。出来る範囲で準備や後片付けを手伝ってもらっている。	行事食や餅つきを楽しみ、居室や食卓で、職員の介助、声かけや見守りで夫々のペースで完食する入居者が多い。丸のみした食事を自室で吐き出し横になっている入居者は、「〇〇先生が食事をして下さいと言われます」との声かけで食事を再開している。	



自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量や水分量をチェックし記録に残し必要摂取をバランス良く確保できるように努めている。		
44		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	利用者本人に合った口腔ケアを行っている。毎食後、口腔ケアは確実行うようにしている。		
45	(19)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	利用者一人一人の能力に応じて出来る限りトイレ誘導しトイレでの排泄できるように支援している。	夜間のみポータブルトイレ使用もあるが、トイレでの排泄を基本として支援している。便座が認識できずズボンの上げ下ろし時の暴言や暴行に穏やかに対応し、便で汚染したウォシュレットなどは即清掃している。中から施錠したことを忘れる入居者もあり、管理者は常に10円玉を携帯していると話している。	
46		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	日頃から水分や食物繊維の多い食べ物の摂取を心掛けている。ラジオ体操・心身体操などで身体を動かし便秘予防にとり組んでいる。寝たきりの人は腹部マッサージを行っている。		
47	(20)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	利用者本人の体調や希望により柔軟な入浴支援を行っている。 週3回入浴ができるようにしている。	週3回を目途に入浴を支援している。中には1時間洗身を繰り返したり、車イスの方だけでなく頑として入浴を拒否する方も2人体制で浴室に誘導し、脱衣や洗身、洗髪を支援するなど、個々に応じた入浴を柔軟に支援している。	
48		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	利用者一人ひとりの生活習慣や状況に応じて、自由に居室で休息できる様支援している。安眠を阻害しないように努めている。		
49		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	朝礼・ミーティング等で薬の服薬目的や副作用などを理解するように徹底し、利用者一人の薬の管理・服薬支援を行い、症状の変化を観察し主治医と相談してその都度対応している。		
50		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	利用者それぞれの性格や嗜好を把握し、様々なレクリエーションを実施したり、生活リハビリを通じて気分転換ができるように支援している。		



自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
51	(21)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるよう支援している	ドライブ・買い物などできるだけ本人の希望に沿える外出支援を行っている。	今年も初詣に出かけ、人出の少ない時間に出かけた向日葵や秋桜の花見の写真がホーム便りに掲載されている。伴侶が希望するドライブや1時帰宅を支援したり、本人の希望で地域のお不動さんに参っている。	
52		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	本人の能力に応じて外出時にお金を持たせ、好きなものを購入できるようにしている。【コロナ禍の中で出来る範囲で実行している】		
53		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	本人の希望に応じて電話や手紙のやり取りを支援している。【現在携帯電話を所持している利用者3名】のうち1名は自分でかけることができないので職員が対応している。		
54	(22)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	利用者が季節の移り変わりを感じられるように装飾物を季節事に張り替え季節感の工夫を演出している。共同の空間は常に清潔を保ち、空調や防臭に配慮している。当園は天井が高く開放感があり太陽光を多く取り入れられるつくりになっている。	玄関前のプランターは季節の花が植えられ、下駄箱の横には大きな花瓶にカサブランカや南天などが生けられ、玄関正面に入居者の書初めと春らしい絵画が飾られている。天井が高く明るい清掃の行き届いた居間で開催される敬老会は紅白の幕が恒例となり、調査日もラジオ体操や口腔体操の掛け声などが上がっている。	
55		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	利用者それぞれがソファやカウンター・リビングのテーブルで自由に過ごせるように工夫している。		
56	(23)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	利用者やその家族の意向を尊重して使い慣れたものや好みのものを活かして居心地の良い空間作りを行っている。	各居室入口には、入居者が家族から贈られたバラをドライフラワーにした花束や表札が掲示されている。夜間の不穏行動による事故を防止するために布団のみの居室もあるが、筆筒、カウチなどの家具を持ち込み、写真が飾られ、居心地良い設えとなっている。	
57		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	利用者それぞれの能力に応じて自立支援や事故防止や見守りを実施し、廊下でのすり床の足元灯など安全確保にも工夫している。		